【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公表番号】特表2005-537010(P2005-537010A)
【公表日】平成17年12月8日(2005.12.8)
【年通号数】公開・登録公報2005-048
【出願番号】特願2004-532878(P2004-532878)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/68　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/68　Ａ
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月25日(2006.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
単一の染色体上の、配列番号１の位置：
（１）６０１及び２１０６、
（２）１９４及び２１０６、
（３）１９４及び６０１、
（４）１０３８及び２１０６、
（５）６０１、１０３８及び２１０６、
（６）６０１、１０３８及び２１８５、
（７）１９４、１０３８及び２１０６、
（８）１９４、６０１及び１０３８、
（９）１９４、１０３８及び２１８５、
（１０）６０１、１０３８及び２３５９、
（１１）１９４、６０１及び２１０６、
（１２）１９４、６０１及び１０３８、
（１３）６０１、２１０６及び２３５９、
（１４）６０１、２１０６及び２１８５、
（１５）６０１、１０３８及び２１０６、
（１６）６０１、１０３８及び２３５９、
（１７）１９４、６０１及び２１０６、
（１８）６０１、１０３８、２１０６及び２１８５、
（１９）１９４、６０１、１０３８及び２１０６、
（２０）１９４、１０３８、２１０６及び２１８５、
（２１）１９４、６０１、１０３８及び２１８５、
（２２）６０１、１０３８、２１８５及び２３５９、
（２３）６０１、１０３８、２１０６及び２３５９、
（２４）１９４、１０３８、２１８５及び２３５９、並びに

（２５）１９４、６０１、１０３８及び２３５９
にある多型部位からなる群より選ばれる２以上のＳｅｑ－４０多型部位を占めるヌクレオチドに対応する核酸由来のヌクレオチドを測定することを含む、診断又は予知の目的のための個体のハプロタイプ決定方法。
【請求項２】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６のヌクレオチド又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項３】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６のヌクレオチド又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項４】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項５】
前記決定が、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６のヌクレオチド又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項６】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１０６のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項７】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１８５又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項８】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項９】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置１０３８又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１０】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１８５又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１１】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２３５９又はその断片の同一性を側定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１２】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１３】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置

６０１のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置１０３８又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１４】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１０６のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２３５９又はその断片の同一性測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１５】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１０６のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１８５又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１６】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１７】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２３５９又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１８】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項１９】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１０６又はその断片、及び配列番号１の位置２１８５又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２０】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８又はその断片、及び配列番号１の位置２１０６又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２１】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１０６又はその断片、及び配列番号１の位置２１８５又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２２】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８又はその断片、及び配列番号１の位置２１８５又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２３】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１８５又はその断片、及び配列番号１の位置２３５９又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２４】
前記決定が、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１０６又はその断片、及び配

列番号１の位置２３５９又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２５】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置２１８５又はその断片、及び配列番号１の位置２３５９又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２６】
前記決定が、配列番号１の位置１９４のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置６０１のヌクレオチド又はその断片、配列番号１の位置１０３８又はその断片、及び配列番号１の位置２３５９又はその断片の同一性を測定することを含む、請求項１記載の方法。
【請求項２７】
前記決定が前記ＤＮＡの増幅を含む、請求項１記載の方法。
【請求項２８】
前記決定が特定のアレルのｍｕｌｔｉｐｌｅ ＰＣＲ増幅を含む、請求項１記載の方法。
【請求項２９】
単一の染色体上の、配列番号１の位置：
（１）６０１及び１０３８、
（２）１９４及び１０３８、
（３）６０１及び２１０６、
（４）１９４及び２１０６、
（５）１９４及び６０１、
（６）１０３８及び２１０６、
（７）６０１、１０３８及び２１０６、
（８）６０１、１０３８及び２１８５、
（９）１９４、１０３８及び２１０６、
（１０）１９４、６０１及び１０３８、
（１１）１９４、１０３８及び２１８５、
（１２）６０１、１０３８及び２３５９、
（１３）１９４、６０１及び２１０６、
（１４）１９４、６０１及び１０３８、
（１５）６０１、２１０６及び２３５９、
（１６）６０１、２１０６及び２１８５、
（１７）６０１、１０３８及び２１０６、
（１８）６０１、１０３８及び２３５９、
（１９）１９４、６０１及び２１０６、
（２０）６０１、１０３８、２１０６及び２１８５、
（２１）１９４、６０１、１０３８及び２１０６、
（２２）１９４、１０３８、２１０６及び２１８５、
（２３）１９４、６０１、１０３８及び２１８５、
（２４）６０１、１０３８、２１８５及び２３５９、
（２５）６０１、１０３８、２１０６及び２３５９
（２６）１９４、１０３８、２１８５及び２３５９、並びに
（２７）１９４、６０１、１０３８及び２３５９
に１以上のＳｅｑ－４０多型部位を占めるヌクレオチドに対応する患者から得られた核酸由来のヌクレオチドを測定方法であって、当該測定結果が、当該患者が精神分裂病を発症する傾向があるか否かを評価するために用いられる、前記方法。
【請求項３０】

配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３１】

配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、かつ配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３２】

配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３３】

配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３４】

配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３５】

配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３６】

配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３７】

配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２１８５の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３８】

配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項３９】

配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧで

あり、かつ配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４０】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣ又はＧであり、かつ配列番号１の位置２１８５の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧ又はＡであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４１】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２３５９の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４２】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４３】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４４】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２３５９の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４５】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２１８５の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４６】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４７】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２３５９の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＴであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有

すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４８】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項４９】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項５０】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項５１】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２１８５の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項５２】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２１８５の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項５３】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、配列番号１の位置２１８５の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２３５９の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＴであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項５４】
配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、配列番号１の位置２１０６の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２３５９の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。
【請求項５５】
配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであ

り、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、配列番号１の位置２１８５の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、かつ配列番号１の位置２３５９の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＴであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。

【請求項５６】

配列番号１の位置１９４の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＡであり、配列番号１の位置６０１の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであり、配列番号１の位置１０３８の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＣであり、かつ配列番号１の位置２３５９の前記ヌクレオチド又はその断片についての前記同定がＧであるならば、前記評価ステップが、前記患者は精神分裂症を発症する傾向を有すると決定することを含む、請求項２９記載の方法。